

2024 年度 個人研究実績・成果報告書

2025 年 2 月 18 日

所属	会計ファイナンス 研究科	職名	教授	氏 名	中島 隆仁
研究課題	インバウンド投資に係る税務上の課題に関する研究				
研究キーワード	インバウンド投資、国際課 税、ニセコ	当年度計画に対す る達成度	4.当初の計画どおり研究が進まなかった		
関連する SDGs項目	10. 人や国の不平等をな くそう	11. 住み続けられるまち づくりを	16. 平和と公正をすべて の人に	該当なし	
1. 研究成果の概要 大学院教員 2 年目となった今期も、授業の準備及び実施、並びに修士論文の作成指導等に時間と労力を費やし、研究に十分な時間を割くことができず、全体として、当初の計画どおり研究が進まなかった。 そのような状況にあって、インバウンド投資の現状については、関連書籍や各種報道から現状の把握に努めた。従来からインバウンド投資が盛んなニセコ（北海道）のみならず、富良野（北海道）や白馬（長野県）もインバウンド投資が目に見えて増加している。いずれもスキー等の冬季レジャーを目的とした投資が増加し、地域経済も活性化している一方で、オーバーツーリズム等の課題も顕著になっている状況にある。 税務上の観点では、インバウンド投資に係る課税問題に効果的に対応するためには国際協調が必要不可欠であるところ、自国第一主義が租税分野にも波及しつつあり、デジタル課税をはじめとする国際課税問題への対応が停滞する懸念が生じている。今後の動向について、引き続き、注視していきたい。 2. 著書・論文・学会発表等 （できるだけご記入ください。査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載） 【論文（査読あり）】 【著書・論文（査読なし）】 【学会発表等】 3. 主な経費 論文作成に必要な書籍及び消耗品の購入に使用した。 4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等） (本文は 2 ページ以内にまとめること)					